



FUJIEDA SOUTH ROTARY CLUB

藤枝南ロータリークラブ会報

例 会： 毎週金曜日 小杉苑
 藤枝市青木2-35-30 TEL：054-641-3321
事務局： 藤枝市青木1-11-10 TEL：054-647-2300
 FAX：054-647-2040
 E-mail：club1991@fujieda-rotary.org

会 長：山田 壽久 **副会長：**江崎 直利 **幹 事：**渡邊 博文 **副幹事：**桑原 茂

第1205回 ♪ソング…我らの生業・線路は続くよ ♪ソングリーダー…杉山 茂範君



ROTARY
SERVING
HUMANITY

2016-2017年度 R1テーマ

人類に奉仕するロータリー

■ 会 長 報 告

山田 壽久君

皆さん、こんにちは

今日は総理大臣の安倍さんが、アメリカの次期大統領に選ばれたトランプ氏との初めての会談のため、大統領



就任前ですがいち早くアメリカに向かい、日米関係の防衛やTPPなどの主要な事項について、話し合われていると思います。今日の会談が日米双方にとって、有意義な会談となるよう願うところであります。

今朝のニュースでは、トランプ氏への友情のあかしとして、ホンマのゴールドのゴルフセットを用意したようです。ドライバーが一本50万円と言っていました。フランクに会談ができるいいですね。

いよいよ明日あさってが、2620地区の地区大会ですので、出席をお願いしている皆様には、お忙しいと思いますが、ご協力をお願いいたします。

今週の角栄の言葉

田中角栄がゴルフを始めたのは、自民党幹事長時代の1960年代の事でした。超ハイペースでラウンドを回る角栄に、当時の秘書達も大変だったようです。角栄は勝負と数字にこだわり、目標を持って一打一打を大切にしていたそうです。「ゴルフは道楽じゃなく、真剣勝負なんだ。ひたすら歩いて体を責める。汗を流す。昨日よりスコアを良くする。ミスは繰り返さない。」角栄とゴルフを共にした政治家や関係者は、「一国の総理大臣が、ゴルフに対し、ここまで無心に、無邪気に、そして一生懸命になれるものか」と、一様に驚き、角栄の人柄に改めてほれ込むことが多かったと言われています。

何事にも真剣勝負の角栄の性格の現れだと思えます。今週も角栄の言葉を胸に刻みたいと思えます。

■ 幹 事 報 告

渡邊 博文君

- ・国際ロータリー日本国内地区クラブ事務所より 2017 年国際ロータリー年次大会（アトランタ大会）参加旅行募集案内送付のご案内が届きました。
- ・公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より ハイライトよねやま 200 が届きました。
- ・関東ブロック商工会議所青年部連合会 会長 渡辺晋様より
日本商工会議所青年部 第 36 回関東ブロック大会しずおか藤枝大会ご臨席のお礼が届いております。

■ 出 席 報 告

藪崎 茂君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
37/45 82.22%	40/45 88.89%

(1)欠席者（事前連絡とメイクアップをどうぞ）

○飯田君 ○稲葉君 ○川口君 ○桑原君
○佐野芳君 ○樽井君 ○森竹君 藪崎幸君

(2)メイクアップ者

小山 明良君（焼津） 玉木 末雄君（焼津）
富澤 静雄君（焼津・藤枝） 梅島 純夫君（焼津南）
稲葉 俊英君（藤枝） 富澤 賢一君（藤枝）
森竹 正晃君（藤枝）

梅島 純夫君



本日は「卓話」ということで、「今、気になっていること」をテーマとして話して欲しいとのことです。東北大震災の後、長野、熊本、鳥取と大きな地震が起こっており、この地区も東海沖地震がいつ起こってもおかしくない状況です。

少し時間が経ってしまいましたが、昨年業務の関係で岩手県の宮古市、陸前高田市、気仙沼市、一関市を震災後の復興状況の視察として行ってきましたので、そのことについてお話しさせていただきます。

三陸海岸の有名な観光地（北山崎・浄土ヶ浜など）があるところで通常は観光客でにぎわっているところです。

震災後、4年経った時期だったのでかなり復興が進んでいると思っていたのですが、現地へ行ってみると瓦礫の撤去はほぼ終わっていたのですが沿岸部のほとんどは盛り土は終わっているのですが、建物はほとんどない状況でありました。

最初の宮古市田老地区は以前の津波被害から全長2,433メートル、高さ10メートルの大防潮堤があったところですが、この防潮堤も今回の津波にはなすすべがなかったとのことです。

市役所では地元のボランティアの方が今回の震災被害を後世に語り継ぎ、同じような人的な被害が起きないようにと「かたりべ」として、涙ながらに話してくれました。

その方によればこの大防潮堤があったことでかえって住民の方が安心してしまっ、まさか超えては来ないだろうという意識と、この防潮堤で海の状況が見えないため、屋外にいた方は津波がどの程度のものかが分からず、津波が防潮堤を乗り越えてきて始めて津波の大きさを知った方が多く、そのほとんどの方が犠牲になったとのことでした。

二日目に気仙沼信用金庫の本店に寄ったのですが、地震と津波の被害に遭い、4年経ったその時も倉庫を改装した仮店舗での営業を行っていた。金融機関は顧客の利便性を最優先することを

当局（財務局）から求められていますが、金曜日の震災発生から、翌週の月曜日には小口現金の払い出しを開始したそうです。

職員の殆どが被災者で、職員本人との連絡も容易につかず、職員の安否確認から始めたそうです。なかには家族の安否が分からない職員も多数いたそうですが、職員の協力により最低人員を集めて3日後に対応したそうです。

電気もきておらず、機械設備やシステムのネットワークも接続できない状況で手作業で対応したそうです。

三日目は一関市によりましたが、ここは少し沿岸部から離れている為、津波被害はまったくなかったようですが、地震による建物の崩壊が激しかったようです。

ここでは余震が激しくガラスの飛散が激しく、寝る枕元には懐中電灯とスニーカーを置いて寝たそうです。

いずれの地区でも、震災直後はほとんどのライフライン（電気・電話・水道・ガスほか）は断たれた状況で支援物資頼みの状況だったようです。電化製品はまったく役に立たなかったそうです。

少したったところからは支援物資の提供が始まったが、移動手段として自動車はガソリンが緊急車両優先で手に入らず、自転車移動手段として重宝したようです。

緊急時の対応として自家発電装置を設置してあったが、津波被害のあった地区では1階設置では浸水して使えなかった。

地元の産業は壊滅状況・全面ストップ状態であったが、何とか復興しなければという意識から同業種間、異業種間で協力支援しながら、一刻も早い事業の再開に努力した。

多くの支援物資の提供を受けたが、反面その影響で商店街への顧客が激減した現象も見られた。その時の一番の課題は事業を再開したくても多くの人が遠方に避難して働き手を確保できないことであった。

また、人口減少で地区の消費が極限に落ちてしまっている、多くの観光客の方に来て欲しいと頼まれましたので、皆さんも既にいかれた方も多いと思いますが是非行って頂きたいと思います。

金庫では昭和25年の藤枝市への支店出店以来、約65年が経過していることから平成26年の藤枝市制60周年の記念事業として、藤枝市・藤枝商工会議所様等のご協力もいただきまして「産業の町 藤枝 創業誌」を発刊しました。

地区活性化活動の一環として、藤枝市の産業の歴史と企業の創業の歴史を広く紹介し、後世に伝え残すことを目的として発刊させて頂きました。本RCの会員の方の会社10社も原稿の投稿に協力して頂きました。御査収いただければ幸いです。

植田 裕明君



政治の世界は何が起こるか分かりません。アメリカ大統領選挙ですが、世界に衝撃が走ったトランプ氏の逆転勝利。トランプ優勢の報道が起こると、カナダ移住の問い合わせが殺到し、カナダ入管の回線がパンクしたというニュースもあったり、今でも大規模なデモが起こったり、中には州の独立を訴える声すらあるとのニュースもありました。ともかく、これほど毀誉褒貶の激しい人物もいないと思います。

また、今年の夏には、イギリスがEU脱退という国民投票がなされ、これまた世界に衝撃が走りました。どうも、アングロサクソンの常識というのは、日本人には理解できません。イギリスもアメリカも議会制民主主義の老舗であり、模範の国ですが、民主主義とは、時として、こうしたこともあり得るということを、まつりごとに関わる者としては、肝に銘じておかなければならないと感じた次第です。

本題の藤枝市の話題についてですが、本日の静岡新聞朝刊1面に大きく載っていましたが、JR藤枝駅南北にJR東海が商業施設を計画中で、また空き店舗となっていた旧アピタには、しずてつストアが入店予定ということです。

議会は、11月22日から始まりますが、今回は補正予算が14億円を超える額で、大規模な補正予算が予定されています。

また、来年4月から、市立総合病院の患者給食を民間委託の予定です。全国の公立病院の7割以上が、患者給食を民間委託しており、県内でもほとんどの公立病院が委託し、焼津と藤枝だけが今なお、直営で行っています。しかし、調理師の募集が非常に難しく、常に人手不足状態のため、安

定的に供給できるよう民営化したいというのが当局の姿勢であり、前回の9月議会で、その補正予算を賛成多数で可決しました。

これに強く噛みついたのが、共産党さんで、9月議会は非常に厳しい応戦がありました。彼らの主張は、病院給食は医食同源からしても、医療の一環であって、それらを民営化することは危険だというのが骨子で、「営利目的の民間事業者に委ねれば、儲け第一になるので、質の低下は免れない」「委託料がかかり、お金が余分にかかる」「地産地消条例に抵触する」といった理由からです。

賛成派は、共産党さんの2議員を除く大多数の議員です。直営の方が望ましいではあろうが、患者給食は欠かすことのできない重要なことに鑑みれば、常に人手不足で不安定な状況では継続も難しくなる可能性もあるため、民間委託もやむなしということで、病院側の意思を認めたこととしました。

どうやら、11月議会でも第二ラウンドがあるそうです。

■ 今週の一言

内山 淑夫君

私の生きがいは、朝呑みです。

2年前に大阪に出張があり空いた時間に学生時代の友人と通天閣に行きました。10時に駅に



ついて通天閣まで徒歩5分程度ですが驚くべき事にいきすじの商店街という飲み屋街全てオープンして、串揚げをつまみに皆がお酒を飲んでいることでした。昼の日中からなんと破恥な、なんと無節操な、なんとすばらしいことか。ビールやホッピーに串揚げ。しかも、ひと串80円からというリーズナブル。

ところは変わって上野は御徒町。ここも昼日中から立ち飲み屋に人が群れています。げそわさ160円、こぶくろ刺し160円。壁を見つめて、テレビを見上げて、スマホをいじくって、スタイルは違えどホッピー片手に一人酒。ここの面白いところは小銭をテーブルに置いとくことです。注文ごとに店員が小銭を徴収していきます。現物との引き替えなんです。

ともあれ、何が贅沢と言って、朝呑みの贅沢といたらありやしません。大いに勧めていきたいものです。

例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
11/25(金) 第 1206 回	地区大会報告	
12/2(金) 第 1207 回	クラブ年次総会 会員卓話	理事会
12/9(金) 第 1208 回	会員卓話	
12/16(金) 第 1209 回	会員卓話	

(担当／鈴木寿君)